# 京都教区時報

京都教区広報委員会
（編集長　村上透磨）
京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075－211－3025
FAX 075－211－3041
honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page http：//www.kyoto.catholic.jp　4345

4頁　教皇フランシスコの訪日メッセージに応えて(2)
5頁　あんてな～青年センターより～

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 079－431－8601

## 2020年　司教年頭書簡を読む(6)

### 貧しい人に寄り添う

〈おお、貧しい人々の神よ、あなたの目にはかけがえのない、この地球上で見捨てられ、忘れ去られた人々を救い出すため、わたしたちを助けてください。〉

貧しい人のためにではなく、寄り添うのです。京都教区ビジョン（1981年11月23日発表）も、第一回福音宣教推進全国会議（NICE、1987年11月開催）も、「弱い立場に置かれた人々」に寄り添うことから始まりました。実は、第二バチカン公会議もそうだったのです。かわいそうだと思うのではなく、むしろ「ごめんなさいね」と胸を打ちながら寄り添い、ひれ伏したのです。

貧しい人々は、好んで貧しくなったのではありません。貧しくされたのです。キリスト者は、貧しくされ、小さな人にされた人々の中に神がおられ、キリストがおられ（ルカ4・14～16、マタイ5・3、25・35～40参照）聖霊が語られると知っています。

貧しくされる原因は、気候変動や自然災害、戦争、病原菌、経済的・政治的・国家的エゴなどです。人間のおごりや欲望からくるものもあるでしょう。危機に瀕した家庭の人々も、病者も、受刑者も、難民も移住者も、孤独な高齢者もみな寄り添うべき人です。地球は、神が寄り添う家族です。だからみんな寄り添い合うのです。みんな誰も見捨てられることなく、主の家の庭では、共に喜び、共に苦しむのです。いらない人はだれもいないはずです。（一コリント12章参照）

教皇は、貧しい人こそ教会の中心に置くべきだと言われます（教皇フランシスコ使徒的勧告「福音の喜び」参照）。しかし、「貧しい人のために」の「ために」という言葉が気にかかります。

なぜ愛するのか。それはその人がそこにいるからなのです。

（村上透磨）

イスラエル　山上の垂訓教会
真福八端のステンドグラス

7
2020

## すべてのいのちを守るため
### ～教皇フランシスコ訪日講話集～ を読む④

### 信仰に命をかける、殉教者の心

教皇様は、訪日直後の司教団への挨拶の中で、「信仰の偉大な証人の足跡をたどる宣教する巡礼者としてここにおります」と述べられました。聖フランシスコ・ザビエルをはじめ、聖パウロ三木と同志殉教者、福者高山右近や多くの宣教者たち、さらに信仰を守り抜いた潜伏キリシタンの信仰に育まれた殉教者の教会という伝統を持つ日本の教会へ、感謝と賛美を表されました。教皇様の日本巡礼は、このようにして始まりました。

今回は長崎での二つのメッセージについて考えてみたいと思います。

### 殉教者の血は信仰のいのちの証しである

「殉教者の血」は、イエス・キリストが私たち皆に与えたいと望んだ「いのちの種」なのです。それは私たちが日々黙々と務めを果たすことによる「殉教」を通して、すべてのいのち、とくにもっとも助けを必要としている人々を保護し守るために働き、宣教する弟子として生きるのです。

**・「ここ長崎」は、「死」についてよりも「いのちの勝利を語る聖地」なのです。**

**・「ここ」は、まことの真福八端の山でもあります。自己中心、安穏、虚栄から解き放たれ、聖霊に満たされた人々の証しに触れるところです。**

**・「ここ」で迫害の剣に打ち勝った愛の中に、福音の光が輝きました。**

殉教の地とは、すさまじい刑場ではなく、誰もが遭遇するごくありふれた日常生活の場において、真に幸いな生き方ができるところです。教皇様は、福音の喜びを身にあふれさせる「殉教者」であれと、思いやりに満ちて訴えておられます。

ちなみに「殉教」と訳される「マルチル」は、「証し」とも訳すことができます。ですから、この「証し」とは「信仰の喜び」を身に輝かせている人のことを指しているのではないでしょうか。福音の証し人は、何も真面目なしかめ面をする必要はなく、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」（一テサロニケ５・16～17）ということでしょう。

大きなことをしなくても良いのです。小さいことをする人であって良いのです。それは日常のごく普通の生活の中に現れます。つまり「証し」の場は、刑場のようなすさまじい迫害の場でなくても、ごく日常のありふれた生活の場で現れます。それは、全ての人との、特に「貧しい人」と呼ばれる人や、「小さくされた人」と心を合わせてともに生きるところに現れます。そこに神の憐みが生きるのです。

憐みが実現されている場として、おもしろい場面も紹介されています。それは「王であるキリストのミサ」の福音朗読における回心した盗人の話です。彼はあの十字架上で、最終的な形で主の憐みを受けました。イエスが「あなたは今日私と一緒に楽園にいる」と仰せになったことは、彼が主の憐みのしるしであるゆるしを最初に受けたことを示します。これが神のなさり方、私たちもこの慈悲深さを学ぶものとならねばなりません。

## コロナウイルスの殉教者

さて、コロナウイルスが猛威を奮っています。目に見えぬウイルスが、コロナ（王冠）をかぶって暴れています。ウイルスは私たちを十字架に磔（はりつけ）にすることをたくらむ刑吏や群衆、祭司や学者たちかもしれません。（あるいはサタン？）

では、この時にあたって、私たちに何ができるのでしょう。患者もその家族も医療関係者もみんな必死で病気と闘い、今にも倒れそうになっています。彼らは現在の殉教者かもしれません。だったら私たちは、無関心ではいられません。私たちは傍観者ではあり得ないでしょう。（「よいサマリア人のたとえ」参照）

今、こうして闘っている全ての人々の努力を称賛し、支援することを忘れてはなりません。共に十字架を担うキリスト者でなければならないのです。

## 祈りましょう

ところで、今、私たちが忘れかけていることはないでしょうか。それは、神に向かって祈ること、「憐みたまえ」と叫ぶこと、神にご介助願えないかと願うこと、神にご出場願うこと。確かに祈るだけでは足りないと言います。されど、祈らなければ。祈りを知っているのは、私たちキリスト者ではないか、これこそ私たちの最高の証しではないか、命をかけるべきではないか、そんなことを思っています。

（村上透磨）

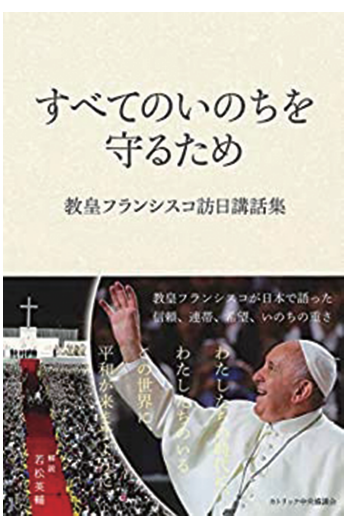
教皇、日本26聖人殉教者への敬意　長崎にて


**すべてのいのちを守るため**
**―教皇フランシスコ訪日講話集**

2019年11月23日から26日にかけての教皇フランシスコの日本司牧訪問中に行われた10の公式スピーチに加え、旅行前のビデオメッセージ、帰途の機中での記者会見、サンピエトロ広場での一般謁見における振り返りを収録。巻末には滞日中の教皇を追った、詩人・批評家の若松英輔による特別寄稿を収載。（カラー写真16頁）

発　　行：カトリック中央協議会
本体価格：1100円（税込み1210円）

※河原町教会地下のサンパウロ京都宣教センターにて取り扱い中



## 教皇フランシスコの訪日メッセージに応えて(2)

教皇は、東京カテドラルで行われた「青年との集い」において、今を生きる青年たちに向けて、様々な問いかけをされました。

その場に参加していた京都教区の青年たちは、その問いかけにどのように応えたいと思っているのでしょうか。

教皇はいくつかのメッセージを発信されましたが、その中のひとつに「いじめ」というキーワードがありました。他人を傷つけることで自分を肯定するいじめる側こそ弱虫である、いじめを無くすためには私たちが「もうやめよう」とはっきり言う必要がある、と話をしてくださいました。その中で感じたことを少しだけ共有させてください。

私は、毎日生活をしている中で不平等さを感じてしまうことがあります。そのときに誰かと自分を比べて、安心することも少なくありません。そうしないと自分はまるでダメなやつで、価値がないように感じてしまうからです。ですが教皇は、「他人との違いがわかるのであれば、他人にはない自分のいいところを与える人生もありじゃない？」とおっしゃいました。かつて私に同じようなことを言った友人がいました。「自分は乾いてしまっても、誰かのオアシスになれるなら本望だ」と。「いや、自分も大切にしてよ」と思ってしまうのですが、おそらく彼は教皇と同じような考え方をしていたのだと気付きました。とても同い年とは思えません。

私の友人のように、誰かのために自分を捧げるのは今の私にはまだ難しいですが、苦しんでいる人に寄り添える人でありたいと思っています。そして、自分も他人も否定するのではなく、まずは認めることから何度でもはじめたいです。

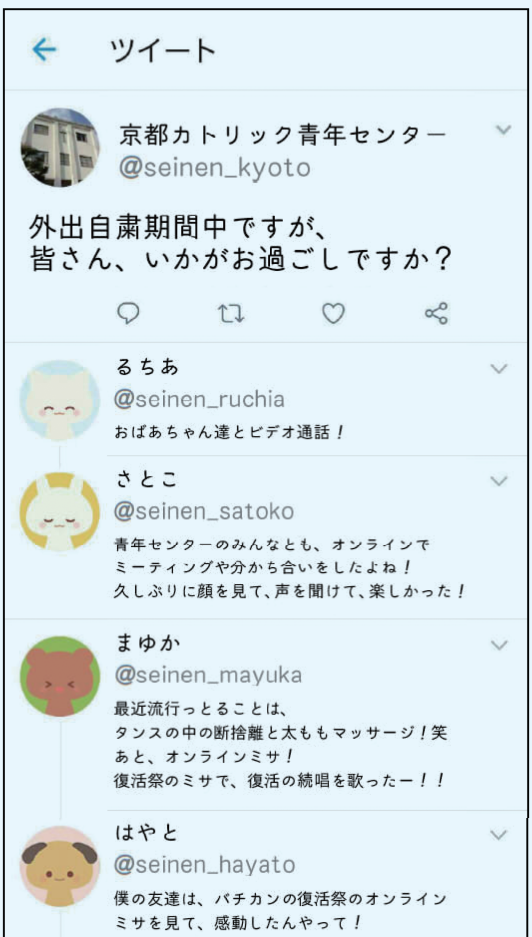
河原町教会　平野慶和

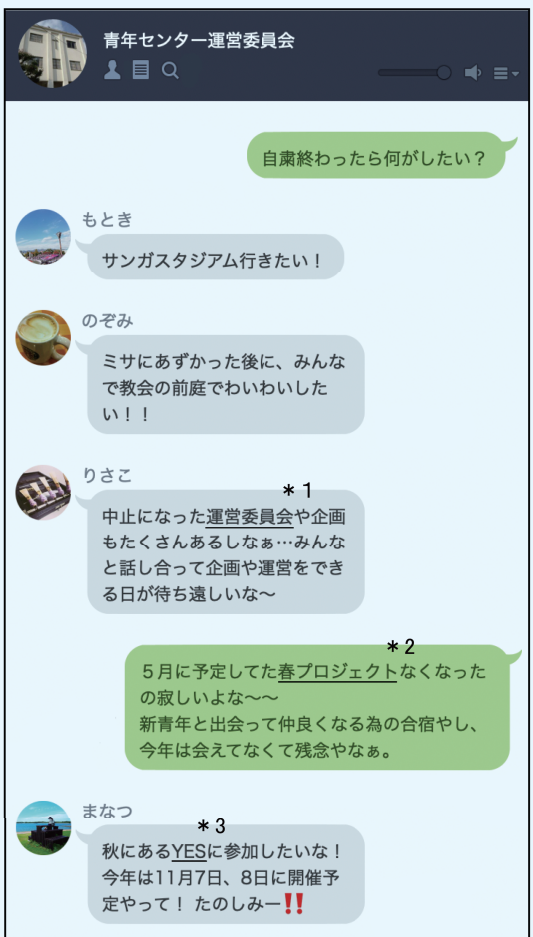
教皇、青年との集い
東京カテドラル聖マリア大聖堂にて

昨年、フランシスコ教皇様の来日が発表された後、「教皇様とつながろう。あなたの『いのちへの想い』で」と題した、モザイクアートプロジェクトが発足し、写真の募集がありました。

こちらが、応募された多くの方の写真でできあがったモザイクアートポスターです。一番上の段に大塚司教様を見つけました。詳しくは「POPE IN JAPAN」特設サイトをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症予防のため、外出自粛生活が始まって１か月（現在 ５月17日）。皆さんはどのようにお過ごしですか？　この記事が読まれるころには、新しい生活が始まっているのでしょうか。今回はインターネットを利用して、現在の青年たちの様子を分かち合いましたので、一部を画像として添付します。青年たちのフレッシュな雰囲気を感じていただければ幸いです。会えない中でも青年センター運営委員一同、知恵を絞って活動する所存です。まだまだ大変な時期も続くかと思いますが、引き続きご支援、お祈りをお願い致します。




https://twitter.com/seinen_kyoto　https://www.facebook.com/seinen.kyoto/　ＳＮＳのチェックも宜しくお願いします！

**＊１　運営委員会**

運営委員会とは、青年センターの運営、活動に関する話し合いを行う場です。

青年センターについて皆さんに広く知っていただくことと交流を目的に、年に６回、京都教区の各地区の教会をまわって開催しています。今年度訪問させていただく教会に関しては、ＨＰをご覧ください。誘致も大歓迎です！

**＊２　例年の活動**

コロナ禍により、今年度の実施は困難かもしれませんが、多くの活動の企画運営を進めています。

- 運営委員会／青少年交流会
- 春プロジェクト／ＹＥＳ
- １日企画（高校生から参加可）
- あっちこっち（他教区と連携）
- 季刊誌「ジョバニ」の発行

詳しくはＨＰ掲載の年間活動計画をご覧ください。

**＊３　ＹＥＳ**

ＹＥＳとは毎年秋に行っている京都教区の青年の集いです。

Ｙ＝“Youth”
Ｅ＝“Enjoy,Exchange,Etc…”
Ｓ＝“Space”

の略で、近年は司教様をお招きして、司教様の年頭書簡を元に分かち合いや交流を行っています。ＹＥＳ2020は、11月７-８日（土日）に予定しております。

〔青年センターHP〕　携帯からでもご覧いただけます。　http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/

青年センターあんてな

**大塚司教の７月のスケジュール**

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、スケジュールの変更がありますので、最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。

## ７月のお知らせ

### 教　区

**聖書委員会**／Tel.075(366)6609 ㊌㊍

**よく分かる聖書の学び**

**当面の間休止**

再開が決まり次第、教区のＨＰに掲載

**広報委員会**

お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区広報委員会宛メール honbu@kyoto.catholic.jp または Fax.075(366)6679 に発信者のお名前を明記してお寄せください。

**※　９月号の原稿締切り日は７月22日㊌です。**

◇新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため以下の行事は中止

７月29日～８月１日　教区高校生会夏合宿

８月５日～７日　教区中学生広島巡礼

９月・10月に予定していた合同堅信式

◇聖金曜日の「聖地のための献金」は９月13日に変更

### 諸　団　体

**京都カトリック混声合唱団**

練　習：12日㊐ 14:00 洛星宗教研究館

25日㊏ 18:00

ミサ奉仕後 河原町教会聖堂

**コーロ・チェレステ**(女声コーラス)

練　習：９日㊍ 10:00／30日㊍ 10:00

河原町教会聖堂２階楽廊

**聴覚障がい者の会**

**手話表現学習会**(聖書と典礼)

新型コロナウイルス感染予防のため、７月・８月の学習会は休会

問合せ：事務局・阿野 Fax:075(361)9082

**カトリック京都働く人の家**(九条教会内)

当分の間、オンライン集会

対　象：15歳～35歳の方　どなたでも

問合せ：090(8207)1831 瀧野

**心のともしび**　番組案内

ラジオ(KBS京都)　㊊～㊏ 朝５:55 ㊏ 朝５:15

（ラジオ関西）㊊～㊏ 朝５:00 ㊐ 朝６:05

７月のテーマ「わたしが目指している道は」

## ８月のお知らせ

**京都教区カトリック正義と平和協議会**／Tel.075(366)6609 ㊍

**第13回戦争と平和写真展**

**「フクシマ・沖縄・核(第五福竜丸)」**

日時：１日㊏ 15:00～20:00

２日㊐ ７:00～15:00

会場：河原町教会 ヴィリオンホール

入場無料

**新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、掲載の行事が変更となる場合があります。各団体にご確認ください。**

**カリタスジャパン「新型コロナウイルス感染症緊急募金」受付中**

募金は①国際カリタスへの資金協力を通じて、全世界で実施される救援活動や困窮者への組織の援助②日本国内での感染症予防に取組む活動や、生活困窮者への支援を行う団体活動への支援などに充てられます。詳細はカリタスジャパンのホームページをご覧ください。

募金受付口座　郵便振替：00170-5-95979

加入者名：宗教法人カトリック中央協議会　カリタスジャパン

＊記入欄に「新型コロナ緊急募金」と明記してください。

＊クレジットカード募金もできます。

Caritas Japan カリタスジャパン